

東京の戦争と平和の歴史を歩く

6 第五福竜丸展示館を訪ねる

米国がビキニ環礁で行った水爆実験による第五福竜丸と全国的な被ばくの実相を知ることは、今日、核兵器はもちろん原発の問題とも深くかわり、「核なき世界」を考える起点となります。市民の願いと平和運動によって保存された第五福竜丸について、展示館の見学と学芸員の解説で学びます。(参加費1300円・昼食込)

江東区



朝霞の陸上自衛隊広報センター

7 麻布ヘリ基地と平和を考える

首相官邸から直線で約2km、六本木に米軍基地があるのを知っていますか? 「麻布米軍ヘリコプター基地」には、約3万㎡のヘリポートのほか、米軍の準機関紙「星条旗新聞」の支局や米軍情報機関の事務所が入っており、首都中枢での諜報活動の拠点にもなっています。東京のど真ん中にある米軍基地を見に行きませんか?(参加費はかかりません・昼食各自)

港区



六本木ヒルズの真横に米軍基地が

3 東京大空襲、その傷痕と被災者の運動

午前中は戦災資料センターを見学し、一晩で10万人が焼き殺された3月10日を頂点とする東京大空襲の実相を学びます。また、東京・大阪・沖縄で取り組まれている訴訟の意義、「全国空襲連」の役割についても考えます。午後はバスツアーで、遺族の思いが残されたところ、44人の命が奪われた言問橋、東京都慰霊堂などを巡ります。(参加費2700円・昼食込)

墨田区

5 練馬・朝霞の自衛隊駐屯地調査

人口71万人の練馬区には、陸上自衛隊東部方面総監部のある朝霞駐屯地と第1師団司令部のある練馬駐屯地があります。かつてのグランドハイツ(米軍将校住宅)とキャンプ朝霞(米軍兵舎)は返還され、現在は公園や住宅街に。10年前にオープンした「陸自広報センター」を見学します。一緒に「基地」を見て住民と一緒に何ができるか考えましょう。(参加費2600円・昼食込)

練馬区

2 都心・新宿の戦争と平和を訪ねる

新宿平和委員会も協力して新宿区が発行した「新宿平和マップ」を活用したフィールドワーク。区内の戦跡や陸軍戸山兵学校跡、軍医学校跡地より出土した人骨の納骨施設、新宿区役所平和のモニュメント等を見学します。“市民がつくる日本・コリア交流の歴史博物館”「高麗博物館」も訪ねます。(参加費400円・昼食各自)

新宿区



東京大空襲で大きな被害を受けた隅田川一帯

4 杉並の平和運動の歴史を訪ねる —小林多喜二、ビキニの運動—

杉並は原水爆禁止運動の発祥の地として知られています。米国の水爆実験による放射能汚染で打撃を受けた魚屋のおかみさんの提案から署名運動が始まり、公民館に事務局を置き全国へと広がりました。また、戦前、特高警察の拷問で虐殺された小林多喜二の母親が暮らしていたのも杉並でした。フィールドワークで「杉並の戦争と平和の歴史」をたどります。(参加費600円・昼食込)

杉並区

1 横須賀基地調査

横須賀軍港を約1時間、チャーター船でクルージングします。思いやり予算で建てられた米軍家族住宅や原子力空母ジョージ・ワシントン専用の埠頭、米軍と自衛隊の一体化がすすむ基地を間近で見ることができます。地元平和委員会のメンバーが詳しく説明し、写真も撮り放題。港内を航行するので酔いの心配もほとんどありません。(参加費2000円・昼食込)

横須賀市



チャーター船で海上から横須賀軍港を調査する

